

一般質問

医療費助成 中学3年まで拡大



東近江市民クラブ 西澤由男

問 人口減少時代を乗り切る、地方創生総合戦略策定に当たって

①義務教育期の医療費助成の拡大は。

②学力向上対策は。

③「子育て支援宣言」をしては。

④民間の開発行為や企業誘致に対する支援は。

⑤世界有数の健康寿命に見合う勤労機会の創出で、生涯現役社会の構築を目指しては。

答 ①医療費助成は中学3年生まで拡大を予定しています。

②学力向上については教育研究所と連携し、授業サイクルの確立や好ましい集団づくりを進めます。

③宣言にはこだわらず、人口減少社会への挑戦として、当市の魅力を高めるため可能な限り取り組みます。

④積極的な誘致のため企

業立地推進課を設け、許可などの総合的な支援を行い、進出企業に対しては、工場等立地促進条例により支援しています。

⑤高齢者の就労は、社会保障費や医療費の抑制、地域雇用の安定にも重要

で、シルバー人材センター、しごとづくり応援センターの活用や、新たな高齢者活用・現役世代雇用サポート事業で支援

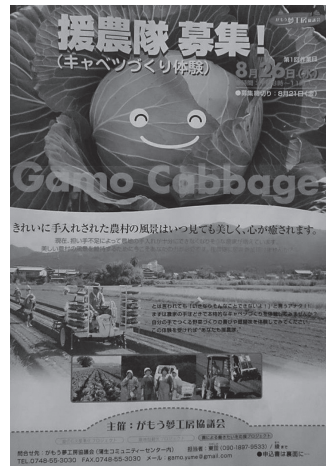
します。

問 市内3給食センターへの完全移行に当たって、地元食材の自給率を

上げる取り組みは。

答 市内産野菜は、重量ベースで38.7%です。

市内産と市外産を別々に



入札し、市内産野菜を優先することで、利用率を高めています。

収穫状況等により調達できないという問題が生じることもあり、今後はさらに利用率が向上するように取り組みます。

問 蒲生幼稚園跡地の有効利用について

①跡地利用の計画は。

②がもう夢工房協議会の拠点として、一部再活用できないか。

答 ①解体後の跡地については、公有財産活用検討委員会等で協議します。

②幼児園の完成後に解体することを条件に国の補助金を受けており、再整備して利用はできません。

キーワードは森と水



東近江市民クラブ 周防清一

問 森と水政策による魅力ある東近江市創生への意気込みは。

答 市面積の56%を占める森林は、豊かな水や木材等を供給し、農業や水産業などの1次産業だけでなく、ものづくりを

発展させ、近年では多くの工場の水源ともなっています。

森と水を持続可能なま

ちづくりに繋げるため、今年度、新たに森と水政策課を設置しました。

恵まれた豊かな自然環境や観光資源、市内に点在する歴史文化の資産を市の宝として磨きをかけて全国に紹介し、住民の定住促進や観光客の増加を図ります。

今後は、民間企業と連携して情報発信することや、関係する部局が一丸となって攻めの政策を進め、何より市民の皆さん

と当市の素晴らしさを共有し、次の世代に繋いでいきたいと考えています。



琵琶湖から鈴鹿山脈を臨む

務を通じて得た意見を初版に反映するとともに、市内にお勤めの方や若者など、様々な方にアンケート調査を行います。

初版策定後、担当課において聞き取りを行い、改訂版に反映していきます。

問 農地周辺道路の雑草の管理は道路愛護事業で対応すべきと考えるが、規定の有無、草刈り時期や回数

は。

答 国道、県道、市道の草刈りは、

県や市では管理規定を設けておらず、道路延長が長いため通行に支障がある箇所以外対応できていません。

沿線の耕作者の皆様のご協力により道路環境が保たれています。

交通安全や農作物への被害を考慮して早期に実施するとともに、道路愛護事業で対応するよう県に要望しています。